

町議会に関する情報は
「議会ホームページ」へ



かみとんだ 議会だより



新しい議会がスタートしました …P1~2

町民インタビュー ……裏面

玉口邦子さんと田中知恵さんにお聞きしました!

発行/和歌山県上富田町議会 編集/議会広報特別委員会
〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

2026
6
No.194

町議会議員12名が決まり、 新しい議会がスタートしました

令和8年第2回臨時会

5月18日（月）、改選後の新たな議員体制による初めての議会が開かれました。

議長、副議長を選挙により選出したほか、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の構成、一部事務組合議会議員の選挙、監査委員の選任等を行いました。



議長 正垣 耕平



副議長 中井 照恵

町政発展のため、 円滑な議会運営に努力したい

今般、議長、副議長の要職に就くことになり、誠に身に余る光栄であり、この重責を痛感しているところであります。議員数12名という少数ではありますが、町民の皆さまの声を議会を通して行政に反映していきたい、また、議会として新たな視点に立ち、町の発展と多くの課題解決に努めて参りたいと考えています。

町民の皆さま方のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

総務文教常任委員会 は、総務課・振興課・税務課・会計課・教育委員会に属する事務及び他の常任委員会に属しない事項並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。（定数6）



◎委員長
家根谷美智子



○副委員長
榎本 修士



委員
正垣 耕平



委員
栗田 八郎



委員
吉本 和広



委員
谷端 清

厚生建設常任委員会 は、住民課、福祉課、長寿課、建設課、上下水道課に属する事務並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。（定数6）



◎委員長
井溪 港斗



○副委員長
山本 賢



委員
平田 美穂



委員
中井 照恵



委員
松井 孝恵



委員
榎木 正行

議会運営委員会 は、議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会条例に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管します。(定数6)

◎委員長 栗田 八郎
委員 井浜 港斗
委員 吉本 和広

○副委員長 中井 照恵
委員 家根谷美智子
委員 松井 孝恵

議会広報特別委員会 は、議会広報の実施及び調査研究に関する事項を所管します。(定数6)

◎委員長 中井 照恵
委員 榎本 修士
委員 家根谷美智子

○副委員長 山本 賢
委員 井浜 港斗
委員 吉本 和広

一部事務組合

一部事務組合は、行政の効率化、能率化を図るため、特定の事務を関係の市町村で共同処理する特別地方公共団体です。その議決機関として議会が置かれます。

富田川衛生施設組合議会議員

(構成 田辺市・白浜町・上富田町)
山本 賢 栗田 八郎
平田 美穂 谷端 清

富田川治水組合議会議員

(構成 田辺市・白浜町・上富田町)
榎本 修士 家根谷美智子
吉本 和広 榎木 正行

公立紀南病院組合議会議員

(構成 田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町)
正垣 耕平 中井 照恵

紀南環境広域施設組合議会議員

(構成 紀南10市町)
井浜 港斗 正垣 耕平

田辺周辺広域市町村圏組合議会議員

(構成 田辺市・みなべ町・白浜町・すさみ町・上富田町)
正垣 耕平 中井 照恵

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員 (構成 県下30市町村)

正垣 耕平

監査委員 は、地方自治法第195条及び第199条の規定により、地方公共団体の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理などを監査するために設置されています。

松井 孝恵 (議会選出監査委員)

体育協会理事

上富田町体育協会規約により、町議会より理事2名を選出しました。

山本 賢 榎本 修士

※役職の任期については、上富田町議会の申し合わせにより、いずれも2年間となっています。



- 新しい議会がスタートしました P.1 ~ 2
- 議会報告 P.9 ~ 10
- 予算審査特別委員会、委員会レポート P.11 ~ 12
- 町民インタビュー
玉口邦子さんと田中知恵さんにお聞きしました! .. 裏面



動画配信も
しています!



議会 YouTube
QR コード



家根谷美智子 議員

1. 世界遺産追加登録10周年を契機とした持続可能な観光振興と次世代への歴史文化継承について



YouTube QR コード

郷土の魅力をもっと
更に！！

問 登録後の整備や取組の進捗は。

答 指定を受けた文化財の保護や維持管理、そういった部分で国や県の補助制度を利用し、申請や地元調整、また工事発注など原状復旧や保全を図っている。

問 世界遺産の認知度の現状は。

答 熊野古道の歴史や文化を体験できる水垢離体験場を設置するなど認知度は一定程度向上しているものと考えているが、今後も関係機関と連携し、情報発信と魅力向上に努める。

問 郷土教育の現状は。

答 小中学校において地域の歴史や文化遺産を学ぶ授業を行い、現地見学や体験学習で理解を深めている。3年生の社会科、昔の道具と暮らしの分野で、上富田町郷土資料館を見学し、当該地域の農山村のなりわいや衣食住に関する生活用品などの説明を聞く授業を行い子どもたちが地域への関心や愛着を持つきっかけとなっている。

問 地域人材との連携は行われているか。

答 ガイドの会や地域の有識者と連携し、現地学習や講話などを通じて実践的な学びの機会を提供している。

問 ガイドの会の役割をどう認識しているか。

答 観光客への案内だけでなく、文化の語り部として継承を担う重要な存在であると認識している。

問 行政としての支援の考えは。

答 道普請や草刈りなどの環境整備にも取り組まれていることについては、町として大変重要な活動であると認識している。現状を踏まえ、活動支援や人材育成など必要な支援のあり方を検討していく。

問 福祉のまち上富田として稲葉根王子跡のトイレをバリアフリーにできないか。

答 直ちに町が改修を実施することは困難だが、今後は近隣の意向を伺い、文化財の保存と来訪者の利便性向上の両立を図りながら、対応策について慎重に研究する必要があると考えている。

問 上富田町の観光協会の現状と課題は。

答 観光振興の中心的役割を担っているが、本年度より事務局機能を町から分離し、業務については、地域おこし協力隊のメンバーへ移管しているところである。

問 今後の観光協会のあり方は。また官民連携の考えは。

答 町は必要な支援や調整を行いながらそれぞれの役割を明確にし、双方が観光施策における車の両輪となって観光振興施策ができるようにと考えている。当面の間は伴走型でいきたい。



平田 美穂 議員

1. 図書館と核とした親子の居場所・交流拠点整備について



YouTube QR コード

つくろう、みんなの居場所

図書館の現状評価について

問 本町の図書館は、本を借りる場としての機能は果たしているが、「滞在したくなる空間か」「親子で安心して過ごせるか」「交流が生まれる場か」という視点で見たととき、現在の姿で本当にいいのか検証が必要である。子育て世代の孤立や高齢者の閉じこもりといった課題が進行中、現状の施設規模や利用環境をどう評価し、どのような課題認識を持っているか伺う。

答 蔵書数約 6 万冊は、人口規模から見て標準的な水準をおおむね満たしている。一方で、蔵書の増加に伴う書庫スペースの逼迫は喫緊の課題である。滞在機能については、読み聞かせ等の子育て交流事業に注力しているが、やはりスペースの狭さが課題である。学習スペースの確保や、小さなお子様連れと静かな環境を求めの方が、互いに心地よく過ごせる空間の「すみ分け」の工夫が必要であると認識している。

図書館機能の拡充の必要性について

問 現在は本を借りる機能が中心であるが、時代の変化に十分対応できているのか。滞在や学び、交流といった役割を広げていく機能拡充の必要性について、町の見解を伺う。

答 誰もが気兼ねなく過ごせる居場所や、本を介した多世代交流の場を創出することは、地域の活力を支えるために必要であると考えている。現在は物理的なスペースの確保が大きな問題となっているが、限られた施設環境の中でも多角的な工夫を凝らしながら、時代の要請に応じた機能拡張に努めていきたい。



複合施設整備の検討について

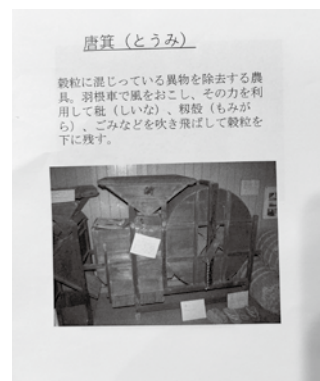
問 図書館、保健センター、多世代交流機、居場所機能を組み合わせた、暮らしを支える複合施設整備を検討すべきではないか。財政面で厳しい状況にあることは理解しているが、直ちに実施できない施策についても将来に向けて検討していくことが重要ではないか。

答 複合施設の整備は、財政状況により現時点では困難であるが、その意義は認識している。現在の文化会館は築 30 年とまだ新しく、直ちに移転・建て替えを行うことは現実的には困難である。しかし、公共施設個別施設計画の中で、更新時に「廃止とするか、活用すべきか、複合施設とすべきか」といった検討を行っていくことは可能である。

郷土資料館の在り方と複合施設との連携について

問 郷土資料館の取り壊しに伴い、移設先が町内でも比較的奥まった立地だと聞く。これらの資料は先人の知恵を伝える重要な財産である。現在の移設先が保存や活用という目的に照らし、十分な条件を備えているか疑問である。歴史は残そうとしなければ消えていく。町民の理解と納得が得られる形で郷土の歴史を未来へつないでほしいと考えるが如何か。

答 郷土資料館は耐震性の問題から、早急な除却が必要である。資料は貴重な文化遺産であり、朝来地内の建屋へ移転を計画している。適切に保管することを最優先に取り組む。





中井 照恵 議員

1. 町道の整備について
2. 公共施設におけるエレベーター閉じ込め対策の整備について



YouTube QR コード

「狭い・見えにくい」
を解消へ

町道の整備について

問 町では、交通量の増加が顕著になっている地域がある。特に南紀の台・パブリック地域では、住宅の増加に伴い通勤や通学の時間帯の渋滞が増え、安全面への不安が高まっている。狭く見通しの悪い箇所や町道の現状について、町はどのような認識を持っているか。

答 南紀の台・パブリック地域では、横断歩道の新設に向け、白浜警察署と協議を進め、児童増加を見据えて速度規制区間の延伸要望書を提出した。また、パブリック地区から新川までの急カーブ区間では、溝蓋設置による路肩整備を行い、安全確保に努めている。町道は総延長224.5キロメートルに及び、その全把握は困難なため、町内会との連携が不可欠である。

問 南紀の台地区から国道42号線につながる町道の整備を充実させるべきだと考えるが、町の見解は。

答 用地の協力をいただける箇所から優先的に、車両の擦れ違いが可能な程度の拡幅工事を進めている。地理的条件で拡幅が困難な場合もあるため、地元の声を聞き、効率的な道路整備に反映したい。

公共施設におけるエレベーター閉じ込め対策の整備について

問 非常時の備えの現状を伺う。

答 閉じ込められた乗客の方には、エレベーター内は機密構造ではないので窒息する恐れは全くないことを伝え、定期的に声をかける、安心させる対応をとる。文化会館や朝来小学校のエレベーターは、停電・地震時に非常用電源で最寄り階へ移動し、扉が開く機能を備えている。扉が開かないなどの異常を察知すると白浜からサービスマンが駆けつけて対応する形になっている。

問 他市町では、既にエレベーター内に防災チェアを設置しているところもある。本町でも検討してはどうか。

答 前向きに検討を進めたい。





吉本和広 議員

1. 通学利用のコミュニティバスの改善について
2. 野球場の電光掲示板設置計画の問題点について
3. 水道の基本料金の免除について
4. 中山間地の訪問介護事業への支援対策について
5. 池尻踏切付近の道路整備について



YouTube QR コード

安全な
バス通学を!

通学利用のコミュニティバスの改善について

問 朝来小学校前では、晴れの日、110台、雨の日には160台の送迎による渋滞で、地域住民も困っている。教育委員さんに渋滞状況を見てもらうこと、また、青バス、赤バスの朝夕のバスに立って乗っている子供たちの危険な状況を乗車してもらって通学状況を認識してもらう必要があるのではないか。

教育長 朝来小学校前の状況はやはり厳しいものがあると思う。教育委員さん方にはお伝えする。



問 他校の4年生以下で見ると遠くから通学しているケースは、岩田小ではなく、生馬小で5人、岡小で6人、市ノ瀬小で6人である。デマンドバスを運行させれば可能だと思う。保護者から送迎の要望があれば、教育委員会として子供の発達段階と通学状況を踏まえて議論し、町と話し合いをし、コミュニティバス検討会に提案することになると思うがどうお考えか。

教育長 コミュニティバス検討委員会とは幅広い議論が必要じゃないかと考える。

問 国の地方創生の目的を見ると、深刻化する人口減少問題への対応があり、これが最も地方創生の大きな目的である。上富田町では若い方の移住によって人口減少が起こっていない。若い方は共働きで忙しく、学校への送迎が負担にもなっている。送迎すると学校の前で渋滞して、時間がかかっている。地域住民も渋滞で困っている。バスに立って乗っている問題を解決し、移住した方の要望に応えることが上富田町に求められる地方創生ではないか。

町長 移住には感謝しているが、地方創生のお金をそっだけに使うということは考えていない。

問 教育長、立って乗っている状況をどのように感じてもらえるか。

教育長 低学年の児童が荷物を持つなどして立って乗車しているという状況は、やはり安全上望ましい状況ではないと考えている。

問 町長、バスに乗られて、立って乗っている状況をどのように感じられたか。

町長 私は、自宅前から朝来小学校まで乗ってみた。子供たちは棒を持ったりとか、いろんな中で立っているのが見えたので、急ブレーキをかけてどんなになるかというのもまだはっきり分からない。

問 もう一度きちんと乗って、どんな事態になるか認識していただきたい。バスを2,000万円で購入し増車すべきである。購入費は国の8割補助対象で、町の負担は400万円である。負担は大きくない。地方創生で野球場の電光掲示板で1億2,500万円が使われようとしている。子供たちの命を守るこそ先に予算を使うべきである。

町長 子供の命も大人の命も大切であるが、様々な事業計画があるので、電光掲示板のほうも大事だと思っている。

問 南紀の台の地域の方と懇談会をもって、地域の声を聞いてはいかがか。

町長 懇談会は、考えていない。

※この他、2.3.4.5.の項目についても質問をしています。



正垣 耕平 議員

1. 投票（選挙）における環境整備について



YouTube QR コード

行かない？
行けない？
町はどう考えるか

近年の投票における投票率について

問 選挙における投票は、町民一人ひとりが政治に参加し、意思を示すことのできる最も基本的な機会であり、その積み重ねが町の方向を決め、未来を形づくっていくものである。より多くの町民の意思が反映されるよう、近年の参議院、衆議院、上富田町長選挙の投票率の推移と分析、また近隣自治体と比較した町の見解は。

答 本町の投票率は、参院選 60.31%、町長選 59.47%、衆院選 54.26%と、50%台から60%台前半で推移している。周辺自治体との比較では、参院選で上富田町の 60.31%に対し、田辺市 57.73%、白浜町 56.48%となるなど、直近の国政選挙では隣接2市町を上回る投票率を確保している。

投票区別の状況と期日前投票の傾向

問 町全体の数字だけでなく、各投票区の状況を伺う。平均を大きく下回る投票区がある場合、その特徴や要因をどう分析しているか。あわせて、近年増えている期日前投票の割合と傾向についても伺う。

答 投票所ごとの投票率は、衆院選で最高 75.97%・最低 42.93%となるなど一定の差がある。投票率が低い地域の特徴として、新興住宅地や集合住宅があり人口流動が大きい点、前面道路が細く駐車場がないなどの地理的要因が挙げられる。期日前投票については、各選挙とも半数以上の方が利用されており、高い割合で推移している。

投票率向上に向けた取り組みと環境整備

問 若い世代や働き世代が投票しやすい環境整備として、人口増加地域への期日前投票所の増設を検討すべきではないか。今後の投票機会の確保、利便性向上に向けた見解は。

答 期日前投票所の増設は、立会人や職員の確保、二重投票防止対策、セキュリティ対策といった運営上の課題に加え、町内どこからでも車で約10分程度でお越しいただける本町のコンパクトな地理的特性から、現在は予定していない。今後の環境整備として、町ホームページや防災行政無線等による積極的な啓発活動に努めるとともに、投票所内では靴を履いたまま投票できるようシートを敷くなどの工夫を行い、有権者の皆様が気軽にお越しいただけるよう努める。



議会報告



2月臨時会 会期(令和8年2月10日)1日間

私はこちら判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井	栗	平	大	山	正	家	中	吉	谷	榎	会
		溪	田	田	石	本	垣	根	井	本	端	木	議
		港	八	美	哲	哲	耕	谷	照	和	清	正	議
		斗	郎	穂	雄	也	平	美	恵	広		行	の
								智					結
								子					果
令和7年度	一般会計(第6号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	承認
補正予算	一般会計(第7号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の処分	財産の処分	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
規約の変更	田辺周辺広域市町村圏組合理約の変更	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和7年度 政務活動費の収支報告

(単位:円)

議員氏名 (注)議席番号順	交付額	支出額								収支 差引額 (返還額)	
		調査 研究費	研修費	会議費	資料 購入費	事務費	広報費	その他の 活動費	政務 活動費計		
井溪 港斗	72,000					19,587				19,587	52,413
栗田 八郎	72,000	29,635					45,000			74,635	0
平田 美穂	72,000					7,561	75,460			83,021	0
大石 哲雄	72,000	6,000			48,000	18,519				72,519	0
山本 哲也	72,000	47,645	30,077							77,722	0
正垣 耕平	72,000	18,860			1,980	1,232				22,072	49,928
家根谷 美智子	72,000	32,001	20,000							52,001	19,999
中井 照恵	72,000	30,561			13,452	14,761				58,774	13,226
吉本 和広	72,000				17,548		84,455			102,003	0
谷端 清	72,000		30,077		48,000					78,077	0
榎木 正行	72,000	18,047	9,365							27,412	44,588
松井 孝恵	72,000	6,929		2,200	39,000	19,722				67,851	12,000

政務活動費は、議員が実施する調査研究、研修、広報、公聴、要請陳情、住民相談、各種会議への参加等、町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他の住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費として年額7万2千円(月額6千円)が交付されています(先払い方式)。

議員は「上富田町議会政務活動費の交付に関する条例」に定める政務活動に要する経費に従い、支出し、翌年度に領収書等を添えて収支報告書を提出します。なお、使途については「上富田町議会政務活動費の交付に関する規則」で規定(限定)されています。

また、支出額が交付額を超えないときは収支差引額(残額)を返還することになり、反対に交付額を超えた分については議員の自己負担となります。

私はこう判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井	栗	平	大	山	正	家	中	吉	谷	榎	議 議 の 結 果
		溪 港 斗	田 八 郎	田 美 穂	石 哲 雄	本 哲 也	垣 耕 平	根 合 美 智 子	井 照 恵	本 和 広	端 清	木 正 行	
条例改正	公告式条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	さわやか上富田まちづくり寄付条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	可決
	半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町立小学校及び中学校施設整備事業費準備基金条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業給水条例等の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度 補正予算	一般会計(第8号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(第9号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計 国保、介護、宅地造成、奨学、朝来財産区	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度 当初予算	一般会計	×	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	可決
	特別会計 国民健康保険事業	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	可決
	特別会計 後期高齢者医療	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	可決
	特別会計 介護保険	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	可決
	特別会計 宅地造成事業	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計 奨学事業	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計 朝来財産区	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
人 事	副町長、教育長、固定資産評価審査委員会委員(1名)、朝来財産区管理会委員(2名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	町道路線の認定・変更	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決

人事案件

令和8年3月31日の任期満了に伴い、副町長の選任につき議会の同意を求めるもの

生馬 山本 敏章 氏 (再任)

令和8年4月1日付で、教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めるもの

白浜町 泉 利明 氏 (新任)

令和8年3月31日の任期満了に伴い、固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めるもの

下鮎川 廣井 哲也 氏 (再任)

令和8年6月14日の任期満了に伴い、朝来財産区管理会委員の選任につき議会の同意を求めるもの

朝来 菅根 伸吾 氏 (再任)

令和8年6月14日の任期満了に伴い、朝来財産区管理会委員の選任につき議会の同意を求めるもの

朝来 栗田 芳也 氏 (再任)

予算審査特別委員会（令和8年度当初予算）

一般会計

88億400万円

前年比3.6%減

令和8年度主な新規事業ピックアップ（当初予算額）



福祉センター照明設備
改修工事請負費

1,300万円

スポーツDXソリューション
導入委託料

2億5,300万円

スポーツセンター
改修事業

2,700万円

イノブタ畜舎除却工事
請負費

2,600万円

保育所照明設備改修工事
請負費

1,200万円

町道畑道線（畑峠隧道）
修繕工事請負費

8,000万円

委員長報告

議案第22号 令和8年度上富田町一般会計予算から議案第30号 令和8年度上富田町下水道事業会計予算までの9議案につきまして、予算審査特別委員会における審査の経過及び結果をご報告申し上げます。

議案第22号から議案第30号までの9議案は、去る3月3日に当予算審査特別委員会に付託され、3月11日、12日の2日間で、当局から説明を受け、その後、質疑、討論、採決を行いました。

その結果、付託された9議案の内、議案第22号から議案第25号までの議案については賛成多数により、また、議案第26号から議案第30号までの議案については全会一致により、すべて原案のとおり可決すべきものといたしました。各議案審査の過程においては、前年対比による増減理由、主な事業に関する説明書により新規事業などの内容及び効果や積算根拠を質し、財政の健全性は確保されているか、行政の効率化・能率化は図られているかなど質疑、提言は広範にわたりました。

令和8年度一般会計の総額は、過去最高であった令和7年度の91億3,600万円から3億3,200万円減の88億400万円となっています。その主な内容は、子育て支援や高齢者福祉の環境改善を目的とした、保育所・児童館・福祉センター等における照明のLED化、平成元年に整備された上富田町イノブタ団地の畜舎解体撤去事業の実施、上富田中学校体育館建て替えに向けた取組の準備、ならびに老朽化が進む上富田スポーツセンター整備等の新規事業に係る費用の計上によるものです。今回の上富田スポーツセンター整備においては、新地方創生交付金「第2世代交付金（地方創生型）」事業を活用し、スポーツDXソリューション事業が3か年計画で導入されることとなっています。令和8年度には、経年劣化により老朽化が著しい野球場のスコアボードを「デジタル電光掲示板」へ更新する計画となっており、本件については当委員会において丁寧な質疑応答が行われました。その中で、デジタル電光掲示板更新に関し、維持管理や利活用計画については、もう少し時間をかけて整理すべきではないかとの意見も出されています。結果として、議案第22号「令和8年度上富田町一般会計予算」は可決されましたが、今後は、これらの意見も踏まえ、具体的な利活用策を十分に検討し、住民に対して分かりやすく示していくことが重要であると考えます。

本委員会における審査におきましては、各委員から多岐にわたる意見や要望が出されました。町当局におかれましては、これらの意見・提言の趣旨を十分に踏まえ、今後の施策の推進と、適切かつ効果的な予算執行に努められるよう要望し、委員長報告といたします。

予算審査特別委員会 委員長 中井 照恵

委員会レポート

常任委員会は、定例会前等に開催され、所管する事務について
 町当局から説明を受ける他、現地視察などの調査を行っています。

総務文教常任委員会

【調査日】 令和8年2月18日、2月24日、3月3日

●スポーツセンター野球場における電光掲示板の設置について

上富田スポーツセンター野球場のスコアボード（得点板及び選手名表示部）は鉄製・アクリル板で構成されており、経年劣化により表示部材の落下等の恐れがあるなど老朽化が著しい状況である。今後、改修を行うにあたり、単なる現状復旧では、作業負担や視認性、表示できる情報量、多目的利用への対応に限界があることから、安全性の確保に加え、視認性の向上、情報提供の多様化、運営の省力化の観点から、令和8年度に電光掲示板に改修する。本事業は、国から新地方創生推進交付金事業が採択されている。電光掲示板の導入により、施設利用者への情報提供の充実や大会運営の円滑化等、既存整備との相乗効果を見込む。

●工事費について

概算工事費 **253,000 千円**



●小中学校本校舎等の照明設備改修について

小学校5校と中学校の照明を、蛍光灯からLED照明機器に取り換え

事業費：**125,500 千円**

●公民館の照明設備について

令和8年度に朝来コミュニティセンター、生馬公民館の照明をLED照明機器に取り換え

厚生建設常任委員会

【調査日】 令和8年2月19日

●後期高齢者医療保険料軽減措置の変更について

保険料における均等割の軽減対象となる所得基準額が変更される。

令和7年度

軽減割合	総所得金額等の合計（同一世帯内の被保険者及び世帯主）
7割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）以下
5割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）+（30.5万円×被保険者数）以下
2割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）+（56万円×被保険者数）以下



令和8年度

軽減割合	総所得金額等の合計（同一世帯内の被保険者及び世帯主）
7割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）以下
5割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）+（31万円×被保険者数）以下
2割	43万円+10万円×（年金・給与所得者の数-1）+（57万円×被保険者数）以下

※令和8・9年度の医療分に限り、7割軽減が7.2割軽減となる。

●介護保険料について

令和7年度税制改正により、給与所得控除の最低保障額が55万円から65万円に引き上げられたが、令和8年度の介護保険料の算定に限り、税制改正前の控除額に調整して計算する。また、世帯の住民税課税状況の判定においても、同様に調整して判定する。そのため、令和8年度の住民税が非課税の方でも、介護保険料の所得段階では課税とみなす場合がある。また、給与所得控除の最低保障額引き上げに伴う就労調整への対応として、前年度住民税非課税者が引き続き非課税となるよう、令和8年度の介護保険料の算定に限り、特例減免を行う。

特集

町民インタビュー



わらべ歌ってなあに？

おすすめわらべ歌

- ・あがりめ さがりめ
- ・だるまさん
- ・むすんでひらいて
- ・かごめ かごめ



岩田公民館で『わらべ歌教室』を開催されている玉口邦子先生（元町立保育所長）と、助産師の田中知恵先生にお話を伺いました。

○玉口先生のお話

Q 『わらべ歌教室』が始まったきっかけは？

A 保育士の仕事をしていた頃、わらべ歌の研修に参加しました。研修の中でわらべ歌の魅力を知り、定年後は岩田の深見助産所内で教室を始め、今に至っています。

Q わらべ歌の魅力は？

A わらべ歌はお母さんのお腹の中にいる頃から始められ、学童期まで長く楽しめます。日本語のリズムや言葉を大切にしながら、顔遊びや手遊びで気軽に親子のふれあいができ、特別なおもちゃがなくても遊べるところも魅力だと思います。



○田中知恵先生のお話

一時は、参加者が減少しましたが、コロナ禍でも親子の居場所として教室を続けてきたことで、少しずつ参加人数が回復してきました。興味のある方はお気軽にご参加ください。



開催日

毎月第3火曜日 午前10時～午前11時頃

（おしゃべりなどで少し延びても構いません）

岩田公民館で実施します。無料で参加いただけます。

編集後記

議会だよりを、皆さんに興味を持って頂けるように委員さんたちと紙面作りに取り組んで参りました。広報モニターさんのアンケート調査で色々な意見等参考にして努めて参りました。至らない点もあったかと思いますが、皆様のご支援のおかげで、2年間の活動を終えることができました。今後もより分かりやすく情報発信が続いていくことを願っております。

（谷端 清）

議会広報特別委員会

委員長	谷端	清
副委員長	中井	照恵
委員	井深	港斗
委員	平田	美穂
委員	山本	哲也
委員	正垣	耕平



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



議会
YouTube QRコード